三原市医師会病院だより

きずな

令和６年
１月発行
33号

地域医療支援病院
三原市医師会病院
【編集・発行】
〒723-0051 広島県三原市宮浦一丁目15番1号
TEL(0848)62-3113　FAX(0848)62-7505
http://www.mihara-hiroshima-med.jp
E-mail:info@mihara-hiroshima-med.jp

■ 基本理念

医療を通じて地域に貢献する。
地域の皆様のニーズを第一に考え、地域および会員から支持され、信頼される病院をめざす。

■ 基本方針

私たちは、会員の開放型共同利用を通じて地域医療に奉仕し、健康管理事業を通じて健康増進に尽力します。
私たちは、医療機関相互の連携を図り、地域全体の医療レベルの向上に努めます。
私たちは、患者様の権利を尊重し、安心して質の高い医療を受けることができるよう努めます。

新年ご挨拶

三原市医師会病院
病院長　**木原 幹夫**

新年明けましておめでとうございます。

過去３年は、新型コロナウイルス感染症を常に念頭においた、落ち着かないお正月でありました。

今年はご家族そろって落ち着いたお正月をお迎えのことと思います。

皆様方におかれましては、平素より医師会病院の運営にご理解とご協力を賜り感謝しております。

新型コロナウイルス感染症の対応に翻弄された３年間ですが、この間世界は大きく変わりました。2022年２月24日、ロシア軍によるウクライナへの侵略戦争が開始されてから１年10か月となります。戦争は膠着状態となり、出口の見えない状態のままウクライナの街は破壊され、市民の死傷者は増え続け、前線では両軍の消耗戦が続いています。

昨年10月７日には、中東でパレスチナ暫定自治区のガザを実効支配するイスラム武装組織ハマスによるイスラエルへの攻撃がありました。これに対するイスラエル軍の報復としてガザ地区への大規模な空爆が行われ、続く地上軍の侵攻によりガザ市の建物の多くが破壊され、女性、子どもを含む多数の市民が犠牲になるという事態が発生し、こちらも戦闘が沈静化する見通しはありません。

第２次世界大戦が終了し、その後世界は東西冷戦からベルリンの壁の崩壊、続くソビエト連邦の崩壊により、世界的な緊張がゆるみ核の廃絶も夢ではないのではないかという幻想をいだかせることもありましたが、それも束の間で、アメリカ合衆国の１強が崩れてくるとともに混沌とした世界となりました。

日本では、多くの先進国の先頭を切って人口減少、少子高齢化が進んでおり、それに合わせて医療を再編するために地域医療体制の構築を行ってきました。

三原市では一昨年の三原赤十字病院と三菱三原病院の統合に引き続き、三原市医師会病院と山田記念病院との統合を行ってきました。

しかし、昨年３月三原看護高等専修学校と三原看護専門学校が共に閉校となり、看護師の確保が一段と難しくなってきました。医師の確保においても都市部への医師偏在で地方は厳しい状況にあり、また医師の働き方改革が今年４月から実施されます。

医療界は厳しい状況ではありますが、三原市医師会病院は地域医療支援病院として、病院間の連携を促進し、医師会員の先生方の診療の力添えができる病院として努力して参ります。

最後になりますが、皆様方にとりまして輝かしい年となりますようお祈りいたします。

元気に生活するために

三原市医師会病院
管理者・副院長
奥崎 健

私たちにとって、元気で生活できるということは大きな願いです。しかしながら、多忙な日常生活の中で健康に配慮する時間を確保することは、多くの人にとってなかなか困難です。ともすれば、病気による症状が出てしまってから、初めて健康のありがたさを感じるということが起こりがちです。

“病気”を次のように２つに分けて考えることが出来ると思います。

①病初期から自覚症状があり、進行とともに症状が悪化するもの

②病初期には自覚症状がなく、進行してから重篤な症状で発症するもの

①の代表的なものは、いわゆる“風邪”です。風邪をひけば発熱や頭痛、鼻水などの自覚症状が出現します。この時点で用心をしたり医療機関に受診したりすれば重症化を防ぐチャンスがあります。対応する時間を与えられているという意味では、比較的“タチの良い病気”とも言えます。ただし、ここで無理を重ねてしまうと、当然ながら病状は悪化してしまいます。“風邪は万病のもと”という言葉もありますので油断は禁物です。他の疾患としては､熱中症や食中毒などがあります。“病気”といえばこの①のパターンを思い浮かべる方が少なからずいらっしゃるかもしれません。しかし次に述べる②のパターンの病気もとても多く、しかもこちらのほうが実は怖いのです。

②の代表的なものは、いわゆる“生活習慣病”です。糖尿病や高血圧などがこれに含まれます。これらはゆっくりと全身の血管を障害して動脈硬化を起こしていきます。動脈硬化はかなり進行しないと自覚症状は出現しません。そのために放置されてしまい、やがて障害された血管が破綻をきたして、脳卒中や心筋梗塞といった直接生命を脅かす病態が突然に生じることがあります。残念なことに、この時点でやっとこの病気による重篤な体調不良を自覚するということがあり得ます。悪性腫瘍(がん)も②のパターンに属する疾患です。どの悪性腫瘍も、初期には自覚症状はありません。やがて、増大して周囲の臓器に浸潤したり他の臓器に転移したりすると、初めて痛みや息苦しさ・全身倦怠感などの自覚症状が出現します。

生活習慣病の予防のためには、当然ながら生活習慣をよくすることが大切です。日頃から喫煙・アルコールの多飲・過食などを避け、睡眠をしっかりとり、生活のリズムを整えましょう。さらに、がん検診も含めた定期的な健康チェックをしていくことをお勧めします。

三原市医師会病院は、地域医療支援病院として、かかりつけ医の後方支援としての入院治療とともに、健康への啓発活動、さらには生活習慣病や悪性腫瘍の早期発見のための健康診査やがん検診も行っています。病気の予防から診断・治療まで、地域の皆様の健康の維持・増進のためのお手伝いをしていきたいと思っています。

院内部署だより　診療部 臨床検査科

三原市の皆さん、こんにちは。

今回は、三原市医師会病院診療部臨床検査科の紹介をさせてもらいます。

まだ、収束したわけではありませんが、ここ３年程のコロナ禍での生活大変だったですよね。このコロナ禍において新型コロナウイルス感染症の診断では、PCR検査が注目を浴びました。三原市医師会病院でも、新型コロナウイルス感染症を診断するためにPCR検査機器を導入しました。そして、このPCR検査を行っている部署が臨床検査科（臨床検査技師）だったんです。幸か不幸か、このPCR検査で全国の皆さんには臨床検査技師という医療従事者の存在を理解していただけたのではないでしょうか。

PCR検査ための検体処理

全自動遺伝子解析装置GENECUBE

臨床検査科（臨床検査技師）は、病院の中ではあまり目立ちませんが、医師・看護師・薬剤師さん達と協力して診断・治療に貢献できるよう色々な検査の現場で頑張っています。

10月29日には２台の検査機器を更新し、11月27日に本稼働にこぎつけました。これからも、最新の検査が三原市医師会病院で行えるよう精進し、地域医療のお役に立てるよう頑張ります。

生化学自動分析装置　LABOSPECT006

化学発光酵素免疫測定装置 LUMIPULSE G1200

臨床検査科の風景

《新たに更新した臨床検査機器》

お出かけ講座　がんサポートチーム

がんサポートチームの佐々繁です。令和５年10月18日、広島県立総合技術高等学校にて“お出かけ講座”を行いました。奥崎医師を始めとし、新満薬剤師、佐々繁作業療法士、助信看護師によって“がんに関する知識”が周知できるように講演しました。学生さんにとって今後の進路や就職活動に活かせる時間になれば嬉しいです。

我々“がんサポートチーム”は当院を受診する患者様のお困りごとに寄り添って、少しでも安心感をもって生活が行えるように支えていきたいと思っています。どんなに些細なことでも、気になることがあれば、まずご相談ください。今後も皆様が健康に過ごせるように精進していきます。よろしくお願い致します。

診療日程表

令和6年1月1日現在

			月	火	水	木	金	土
内　科	午前	内　科	多田　慎平	奥崎　健	露木　佳弘	奥崎　健	塩谷咲千子	奥崎　健
			島田　俊宏	第1·3·5 大田垣　裕 第2·4 黒田　麻美	佐川　純司			塩谷咲千子
	午後	内　科 (予約再診)	石井　翔悟	塩谷咲千子	(奥崎　健)	多田　慎平	島田　俊宏 露木　佳弘	日直医
検　査	午前	消化管内視鏡	世戸　芳博 奥崎　健	壷井　智史	世戸　芳博 奥崎　健	世戸　芳博 (奥崎　健)	世戸　芳博	(奥崎　健)
	午後	気管支鏡	○	(○)	○			
外　科	午　前		佐藤　幸雄 (中島　千佳)	垰本　純哉	佐々井隆真	佐藤　幸雄	中島　千佳	垰本　純哉 (佐々井隆真)
	午　後					垰本　純哉		
脳神経外科	午　前		今田　裕尊	武田　哲二	今田　裕尊	武田　哲二		脳神経外科医 (医師不定)　第2·4
	午　後 14:30～16:00		塩田　大成	今田　裕尊	塩田　大成	塩田　大成		
健康診査科			世戸　芳博	世戸　芳博	世戸　芳博	世戸　芳博	世戸　芳博	
整形外科	午　前		井上　忠	安原　慎治	井上　忠	安原　慎治	安原　慎治	少前　英樹
血液浄化療法科			板倉　崇帆 (隔週) 露木　佳弘	吉本　幸司 (隔週) 露木　佳弘	多田　慎平	多田　慎平	島田　俊宏	塩谷咲千子
専門外来(午前)			〔脳神経内科〕 田妻　卓	〔消化器内視鏡〕 壷井　智史		〔脳神経内科〕 大野　成美	〔循環器内科〕 濱本晃太郎	〔整形外科〕 安永　裕司
				〔循環器内科〕 德山　丈仁			〔呼吸器外科〕 岡田　守人	〔乳腺科〕 橋詰　淳司
								〔脳神経内科〕 田金裕一郎
専門外来(午後)			〔呼吸器内科〕 奥崎　健 14:30～16:30	〔禁煙〕 塩谷咲千子 15:00～16:00	〔呼吸器内科〕 奥崎　健 14:00～16:00		〔便秘外来・肛門科〕 佐藤　幸雄 13:30～15:30	
			〔脳神経内科〕 田妻　卓 ～15:00	〔泌尿器科〕 日向　信之 13:00～17:00	〔循環器内科〕 松下　宏子 12:30～14:30			
				〔循環器内科〕 德山　丈仁	〔背髄外科〕不定期 武田　正明 14:30～17:00			
手術日(午後)			外　科	外科 整形外科	外　科	整形外科	整形外科 脳神経外科(終日)	

地図

休診日

日曜、祝日、8月14日·15日、年末年始(12月29日～1月3日)

バスのご利用案内〈芸術文化センター(ポポロ)·医師会病院入口〉乗車

■芸陽バス《ポポロ南側(高架側)バス停》発三原駅方面

時刻	月～金			時刻	土·日·祝		
6	55			6			
7	0	23	33	7	0	33	
8	3	46		8	3		
9	3	30	53	9	3	30	53
10	6	53		10	6	53	
11	53			11	53		
12	53	59		12	53	59	
13	18	53		13	18	53	
14	11	53		14	11	53	
15	8			15			
16	3	11	53	16	3	11	53
17	22	44		17	22	44	
18	18	30		18			
19	1			19	1		

■芸陽バス《ポポロ西側(浄水場側)バス停》発三原駅方面

時刻	月～金	時刻	土·日·祝
7		7	
8		8	
9		9	
10		10	
11		11	
12	35	12	35
13	38	13	
14	43	14	43
15	25	15	
16	21	16	★21
17	21·58	17	21
18	9	18	9
19	5	19	5
20	25	20	

★は土曜日のみ運行